

いちき串木野市地域学校協働活動

学校応援団だより

～できることを できるときに できるところから～

No. 5-7(217)

＝みんなで支える学校 みんなで育てる学校＝

令和5年9月22日

いちき串木野市地域学校協働活動事業本部

水鉄砲、竹灯籠作り（キッズチャレンジ）



ここが大事、隙間調整。



試し打ち！大成功

生福小学校では8月20日（日）に低学年生は水鉄砲作り、高学年生は竹灯籠作りを体験しました。水鉄砲はボランティア3名の協力で作成し、ボランティアの方が製作するのを子どもたちは見学していました。外筒と内筒の隙間調整が難しく、時間を要しました。完成すると子どもたちは外に出てバケツの水を吸引し、試し打ちをし、水が勢いよく出ると歓声を上げ、喜んでいました。



ドリル操作を体験。



夏休みの貴重な体験でした。

竹灯籠作りはボランティア4名の指導のもと、長さ30cmほどの唐竹にトンボや花火の図柄を貼り付け、3種類のドリルを使って作り上げました。しっかりと竹を固定し、穴あけ作業を行いました。ほとんどの子どもがドリル操作は初めてでしたが、慣れてくると面白そうにしていました。最後に竹の腐れ防止で竹表面をバーナーであぶりあげましたが、穴あけした部分が黒色に焼け、きれいな作品に仕上がりました。

夏だ、羽島の海でSUP！



暑い中、サップを楽しむ！



順番がきました。行っておいで！

羽島中学校と羽島小学校では9月3日（日）の夏の強い日差しの中、羽島港でSUP（サップ）にチャレンジしました。

サップはボードの上に立ち、パドルで左右にこぎ、のんびり、ゆっくり、楽しむウォーターレジャーです。起源はハワイとのこと。

大崎スポーツ推進委員が指導しました。子どもたちは、海に落ちてもボードから離れないようにライフジャケットと命綱を着用し、漕ぎます。

今夏、この教室は4回目です。子どもたちは、はじめはバランスを取りにくくボードに乗ると「落ちる、落ちる、止めて！」と叫んでいましたが、慣れてくると、座ってゆっくり漕ぎ始め、最後は立って漕ぐことができました。

また、空いた時間は自ら海に飛び込み、羽島の海を満喫していました。

多くのボランティアの方が見守る中、子どもたちは海を親しみました。

地域の方が、この教室のため湾内の船を移動し、湾内のごみも片付けました。学校を支える地域の方々の姿が見えました。

連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会 社会教育課
 (TEL 21-5128) (FAX 36-5044) / ご意見・質問・相談もどうぞ
 地域学校支援コーディネーター (有元 操・藤崎 裕史)

* 本応援だよりはいちき串木野市HPでもご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.ichikikushikino.lg.jp/>

MENU (教育・文化スポーツ) (社会教育) (学校応援団だより) で検索。

市立図書館 (本館) の掲示板上にも掲載しています。